

取扱説明書

560-10A & 560-10D



I. はじめに

この度は本製品をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。

本製品は 560-10A の硬度計です。ゴムとプラスチックの硬度は、それらの包括的なベトフォンス反応です。本社の硬度計は、ゴムとプラスチックの硬度を測定するための測定ツールです。本製品は、(ISO 868-1986、ISO 7619 のプラスチックと硬質ゴムは本社の硬度計でくぼみの硬度を測定します) にテストして製造された硬度計です。本製品は、その用途に応じて、デスクトップとポータブルの 2 種類に分けられています。

II. 構造とカテゴリ：

この装置には、圧力針の形状に応じて A、C と D の 3 つのモデルがあります。

本社の硬度計のモデルは form1 以下のようです。

Form1

モデル	総測定力	外圧	測定ヘッドの形状	針の長さ	範囲	備考
A	8.1N	1kg	 フラットコーンポイント 0.79mm 圧力針の上部円錐角: 35°	2.5	0-100HA	
C	44.5N	5kg	 圧力針の上部円錐角: 35° 2.5mm 球形	2.5	0-100HC	
D	44.5N	5kg	 鋭いコーンポイント エンドチップ: 30°	2.5	0-100HD	

III.各部の名称

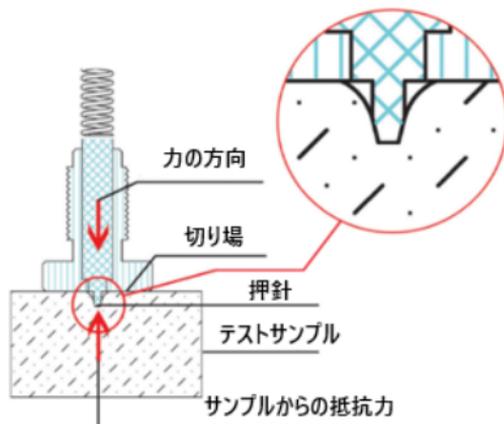


IV. 電池交換

数字の点滅は、バッテリーが消耗していることを示します。矢印の方向に電池カバーを外し、電池を交換してください。



V.使用説明書



測定サンプルの厚さは 6mm 以上である必要があります。厚さが足りない場合は、同じサンプルを追加してください。しかし、3 層以上超えないでください。そして、測定面積は、圧力エッジ 18mm 以上にする必要があります。

1) デスクトップの硬度計測定は、最初に機器を乾燥させて、次にテストしたサンプルに入れ、機器をゆっくりと置きます。3 点を測定し、3 つの値を取得します。3 つの値の平均は、テストされたサンプルの硬度値です。

2) ポータブルの硬度計測定は、機器を手でしっかりつかんで、圧力エッジとテストされたサンプルを同じにします。(圧力については Form1 を参照してください)。1 秒後。文字盤に文字が表示されて、3 点を測定します。次に、3 つの測定値を取得して、その平均値はサンプルの硬度です。

注意事項：通常使用の場合は、モデル A またはモデル D を選択してください。モデル A の硬度値が 90°を超える場合は、モデル D または他のモデルを使用することをお勧めします。使用後は大切に保管してください。